第2章　国保の医療に要する費用及び財政の見通し

第１節　医療費の動向と将来見通し

１　保険者及び被保険者等の状況

（１）保険者

市町村国保の保険者は、154 市町村と３広域連合（※）を合わせて 157 保険者となっています。

また、被保険者数が３千人未満である小規模保険者が 102 保険者と約３分の２を占めています。

※３広域連合（後志：16 市町村　　空知中部：６市町　　大雪地区：３町）

図１　規模別保険者数の推移（各年度末）

厚生労働省「国民健康保険事業実施状況報告」の数値を基に道が算出。

（２）被保険者数等

平成 30 年度における被保険者数は 117 万１千人で前年度に比べ 4.1%の減、加入世帯数は 75 万９千世帯で前年度に比べ 3.1%の減となっており、近年は、被保険者数及び加入世帯数とも減少傾向にあります。また、北海道の人口に占める被保険者の加入割合は、平成 30 年３月末で 21.9%となっています。

表１　加入世帯数及び被保険者数の推移　　（単位：万人、万世帯）

区分		H26	H27	H28	H29	H30	増減率(%)
被保険者数	北海道	140.1	135.2	129.1	122.1	117.1	▲ 4.1
	全国	3,373.5	3,266.5	3,125.2	2,957.1	2,831.4	▲ 4.3
世帯数	北海道	86.2	84.2	81.5	78.3	75.9	▲ 3.1
	全国	2,009.0	1,975.2	1,923.8	1,855.6	1,805.2	▲ 2.7

出典：厚生労働省　「国民健康保険事業実施状況報告」
なお、増減率は、出典数値を基に道が算出。
※被保険者数、世帯数ともに年度平均の数である。

（３）被保険者の年齢構成

65 歳から 74 歳までの被保険者が全体に占める割合は、平成 26 年度の 38.3%から平成 30 年度は 45.8%に増加しており、高齢化が急速に進行しています。

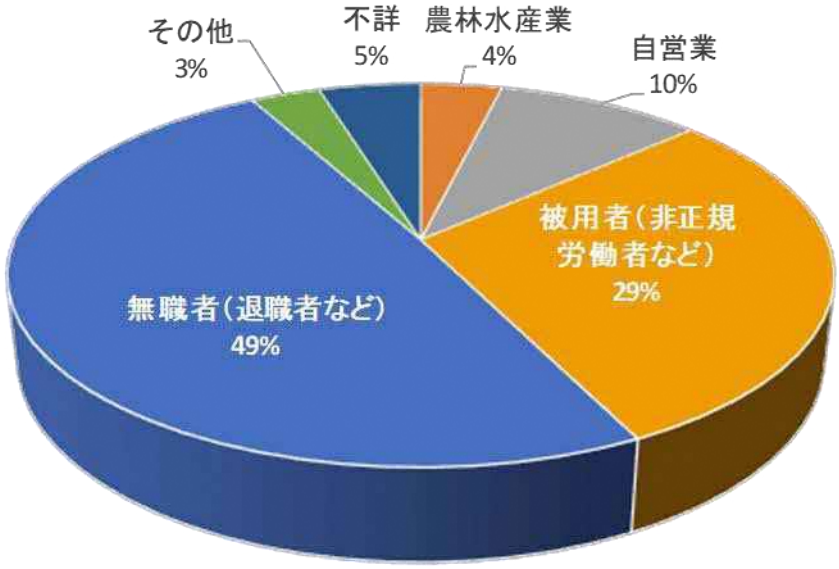
図2　国保被保険者（75 歳未満）の年齢構成の推移

厚生労働省「国民健康保険実態調査」の数値を基に道が算出。

（４）被保険者（世帯主）の職業

国保被保険者の世帯主の職業は、無職者（退職者など）が最も多く、全体の 49%を占めており、続いて非正規労働者などの被用者となっています。現在では、自営業者と農林水産業者は、合わせても 14%にすぎません。

図3　国保被保険者の職業（H30　北海道）



厚生労働省「国民健康保険実態調査」の数値を基に道が算出。